

2017年3月期 第3四半期 連結業績概要

2017年2月6日

太陽誘電株式会社

経営企画本部長

増山 津二

2017年3月期 第3四半期

- 売上高は602億円、前四半期比1%増収
コンデンサ、複合デバイスの売上高が増加。用途分野別では、通信機器向けと自動車・産業機器向けが好調。
- 営業利益は43億円、同34%増益
操業度効果、原価低減効果などにより、増益。

2017年3月期 通期業績予想

- 通期の業績予想を上方修正
円安による為替影響が主な要因。

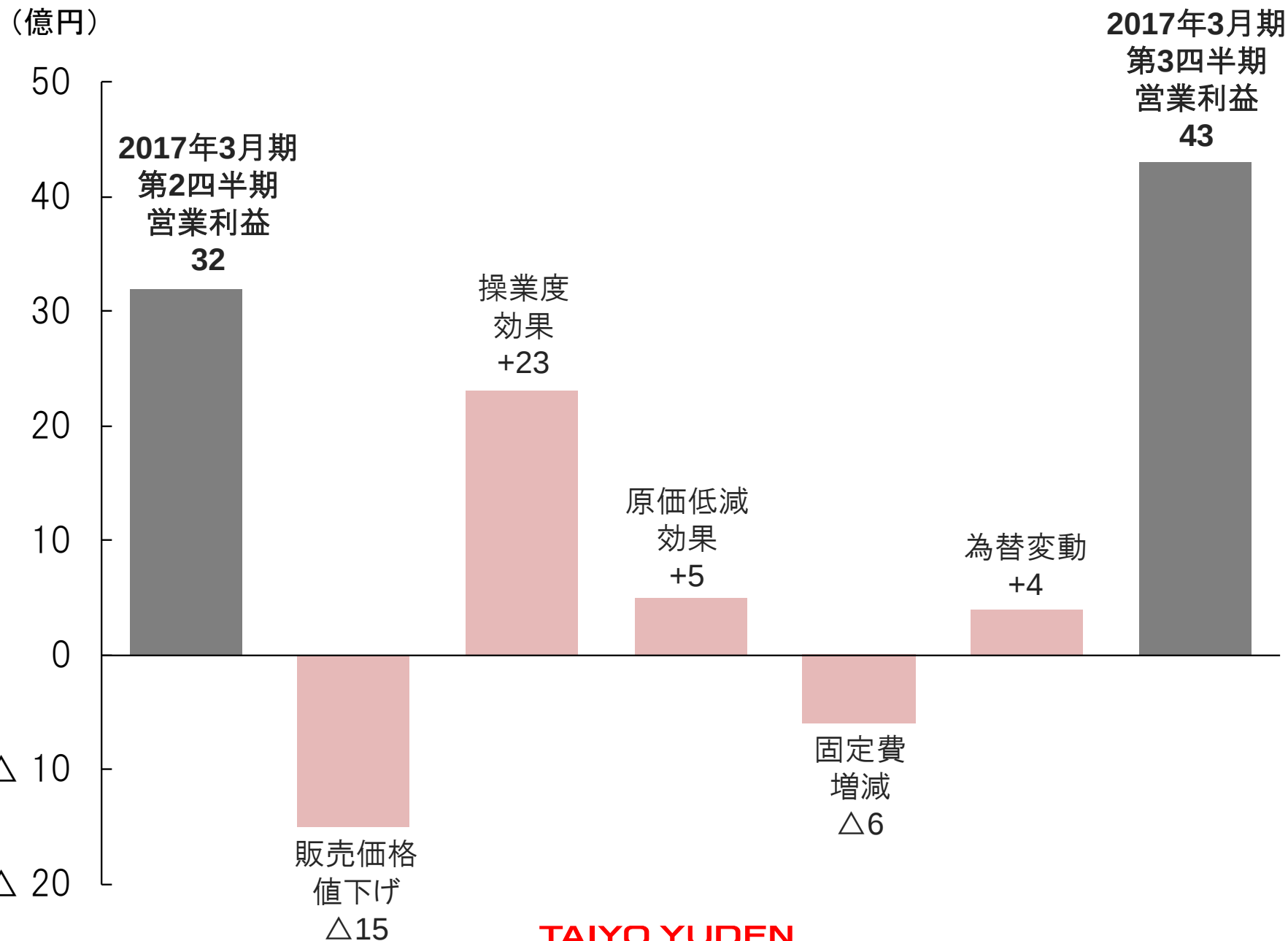
第3四半期 連結業績概要(前四半期比)

(単位:百万円)	2017年3月期 第2四半期 (2016.7.1~2016.9.30)	2017年3月期 第3四半期 (2016.10.1~2016.12.31)	増減額	増減率
売上高	59,561	60,185	624	1.0%
営業利益	3,216	4,298	1,082	33.7%
経常利益	2,202	6,676	4,473	203.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	683	4,067	3,384	495.5%

対米ドル 期中平均レート	103.69円	104.69円	1.00円円安
-----------------	---------	---------	---------

為替変動による影響額は、売上高4億円、営業利益4億円
(米ドル以外の通貨の影響を含む)

第3四半期 営業利益増減要因(前四半期比)



第3四半期 製品別売上高(前四半期比)

(単位:百万円)	2017年3月期 第2四半期	2017年3月期 第3四半期	増減額	増減率
コンデンサ	30,120	30,580	460	1.5%
フェライト及び応用製品	11,594	10,959	△635	△5.5%
複合デバイス	16,490	16,804	314	1.9%
その他	1,355	1,841	485	35.8%
合計	59,561	60,185	624	1.0%

第3四半期 電子部品の用途分野別売上構成(前四半期比)

	2017年3月期 第2四半期	2017年3月期 第3四半期	売上高増減率
民生機器	13%	12%	△12%
情報機器	15%	14%	△6%
通信機器	48%	50%	4%
自動車・産業機器	22%	23%	4%
部品その他	2%	1%	△8%

※当社推計値

主要数値

(単位:百万円)	2017年3月期 第3四半期累計	2017年3月期 通期予想	通期予想に対する 進捗率
研究開発費	7,204	10,000	72.0%
設備投資額	23,225	30,000	77.4%
減価償却費	18,055	25,000	72.2%

減価償却費の通期予想を、従来の260億円から減額。

2017年3月期 連結業績予想の修正

2017年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)	2017年3月期 (2016.4.1～2017.3.31)		増減額	増減率
	前回予想 [2016.11.7発表]	今回予想 [2017.2.6発表]		
売上高	225,000	230,000	5,000	2.2%
営業利益	10,000	12,000	2,000	20.0%
経常利益	7,500	11,000	3,500	46.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,000	5,000	2,000	66.7%

- ・ 為替変動を主要因とし、業績予想を上方修正
- ・ 第4四半期の期中平均為替レートは1米ドル113円と想定

2017年3月期 製品別売上高予想

(単位:百万円)	2017年3月期		増減額	増減率
	前回予想	今回予想		
コンデンサ	113,000	116,500	3,500	3.1%
フェライト及び応用製品	41,000	41,000	0	0.0%
複合デバイス	65,000	66,500	1,500	2.3%
その他	6,000	6,000	0	0.0%
合計	225,000	230,000	5,000	2.2%

補足資料

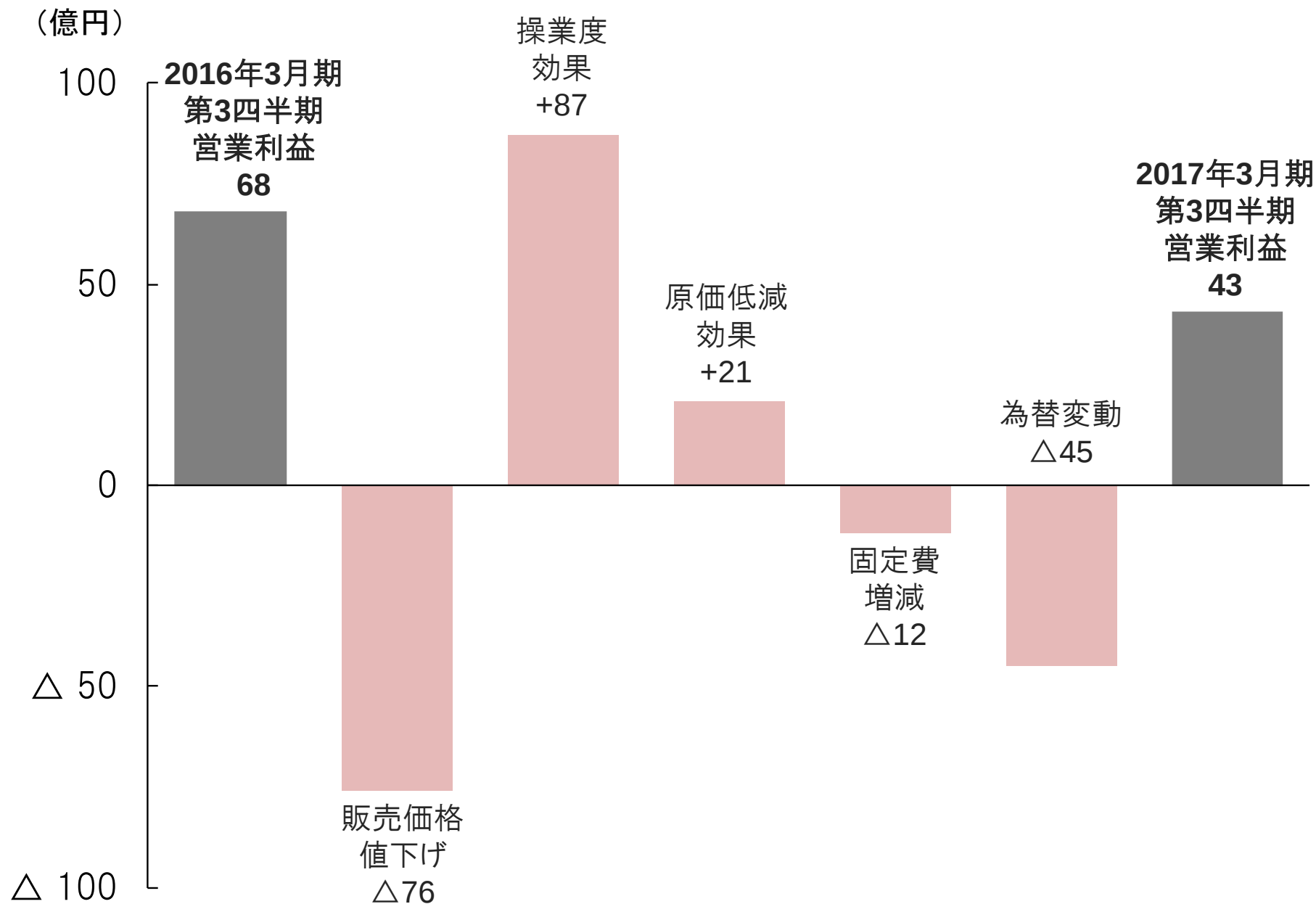
第3四半期 連結業績概要(前年同期比)

(単位:百万円)	2016年3月期 第3四半期 (2015.10.1~2015.12.31)	2017年3月期 第3四半期 (2016.10.1~2016.12.31)	増減額	増減率
売上高	63,967	60,185	△3,781	△5.9%
営業利益	6,804	4,298	△2,505	△36.8%
経常利益	7,266	6,676	△590	△8.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	6,433	4,067	△2,366	△36.8%

対米ドル 期中平均レート	120.97円	104.69円	16.28円円高
-----------------	---------	---------	----------

為替変動による影響額は、売上高△81億円、営業利益△45億円
(米ドル以外の通貨の影響を含む)

第3四半期 営業利益増減要因(前年同期比)



第3四半期 製品別売上高(前年同期比)

(単位:百万円)	2016年3月期 第3四半期	2017年3月期 第3四半期	増減額	増減率
コンデンサ	33,218	30,580	△2,638	△7.9%
フェライト及び応用製品	13,145	10,959	△2,186	△16.6%
複合デバイス	13,292	16,804	3,512	26.4%
その他	4,310	1,841	△2,469	△57.3%
合計	63,967	60,185	△3,781	△5.9%

当資料に記載されている、当社(太陽誘電株式会社、および当社グループ)に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN